

学 校 関 係 者 評 価 報 告 書

愛媛県立新居浜西高等学校

評 価 実 施 日	令和4年2月24日(木)
-----------	--------------

	氏 名	所 属 等	備 考
学校関係者評価委員	伊藤 優子	学校評議員	
〃	柿木 仁	学校評議員	
〃	石井 亮	地域住民	
〃	能瀬 伸一	地域住民	
〃	伊藤 嘉秀	前P T A会長	
〃	藤原 重昭	P T A会長	
〃	篠原 和彦	新居浜市立北中学校校長	
学 校 評 議 員	加藤 喜裕	地域住民	
〃	三木由紀子	地域住民	
〃	永井 誠司	地域住民	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 学力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は特に、例年苦勞していた学力の向上において成果をあげていると思う。 ・公開授業を参観し、生徒たちの授業を受ける様子、先生方の熱心な指導を見せていただいたが、学力の定着がはかられていると感じた。 ・I C T教材を駆使した授業に積極的に取り組んでいると感じた。 ・より一層の進路実績をあげるために、もう一步踏み込んだ計画、指導が必要であると思う。 ・さらなる進路実績を実現するために、部活動と家庭学習時間の確保の両立をはかるための方策が必要であると考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・かつてのような進学実績には及ばないが、現状の中で健気に頑張っており、成果は出ていると感じている。更に期待に応えるべく、努力したい。 ・現状に甘んじるのではなく、各学年が立てた目標値との差について、職員会議等で振り返り、フィードバックし、次年度への課題としていきたい。 ・本校の目標である「I C Tの日常化」を推進し、生徒の学習内容の理解を深め、学力の定着をはかる取組を今後も継続していきたい。 ・ハイレベル模試の受験や土曜講座の実施の他、面談を通した事前指導等によって上位層への意欲付けを図る。また、進路に個別指導を低学年から実施する対策をはかりたい。 ・学習時間の確保を念頭に置いた部活動顧問の指導の在り方について検討するとともに、タブレット端末を用いて、個々に応じた効率的な学習指導の活用を進めていく。
<p>2 可能性の追求</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国公立大学の現役合格者が 130 名であった。うち難関国立大学及び医学部医学科への合格者に占める割合が 5.6%となり目標の5%以上を上回ることができた。 ・読書習慣を身に付ける指導や、図書室活用を推進するための活動についての評価が昨年より大きく上昇し、成果を上げること 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が理解しやすい授業実践に努めるとともに、昼休みや放課後を利用した個別指導、土曜講座の実施などのほか、最難関大学への早期意識づけや2次試験力の向上をはかるための取組について考えていく。 ・読書体験から得られる知識や想像力を育むため、次年度も継続して図書活動の充実をはかりたい。また、生徒の要望に即した

<p>ができた。</p>	<p>より多くの蔵書を整え、生徒が書籍を借りやすい環境整備にも一層の工夫をはかる。</p>
<p>3 豊かな人間性・たくましい心身の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会活動や委員会活動が生徒の意見を反映して自主的に運営されており、コロナ禍で行事が縮小されるなかで、十分な成果を得ている。 ・人権・同和教育において、生徒のみならず保護者への啓発活動をより積極的に行い、充実した取組を期待したい。 ・中途退学や不登校傾向にある生徒の増加が懸念され、個々の生徒に応じた対応や配慮をきめ細かく行ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が主体的に取り組む活動を尊重し、限られた条件下で、いかに充実した活動ができるかを見守りながら、支援していく体制を継続していきたい。 ・中学校での人権・同和教育の学習成果を土台とし、さらに発展させていく機会を作ることが必要であり、これまで以上に保護者への啓発も行っていく。 ・年2回実施している「悩み調査」による情報収集のみならず、普段の生徒との関わりの中で、温もりのある関係を構築する。
<p>4 開かれた学校づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページに生徒の活動状況を掲載するなど家庭・地域への情報発信に努めている。 ・本校に入学させてよかったとする評価が高い数値を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は創立104年目で、来年度の105年に向け、さらに充実した情報発信ができるようにしていきたい。 ・地域に信頼される学校として、地域社会に貢献できる学校づくりを継続していく。本校で学んだことに誇りを持ち、社会で活躍できる人間形成に努めていく。
<p>5 業務改善・働き方改革</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務の効率化をはかれるような取組がみられる。 ・勤務時間が長い職員に対するケアを十分に行ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の強みを正しく評価し、改善すべき点には優先順位をつけて絞り込むなど、課題意識をまずは共有して、具体的に実践する。 ・年次有給休暇取得の促進を呼びかけ、業務の平準化を各々が計画し、他の課員にも見える化を図っていく。また、月に1回は定時退勤日を設け、定時に帰宅しやすいような雰囲気づくりに努める。